

令和3年度総合教育会議

教育委員会はなぜ「地域との協働」に力を入れるのか

令和4年1月21日

清瀬市教育委員会

# 清瀬市教育委員会のミッション

人格の完成を目指し

平和で民主的な国家及び社会の形成者として必要な資質を備えた  
心身ともに健康な国民の育成を期して行われなければならない

(教育基本法第1条の実現)

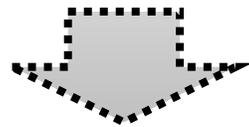
+

「教育」を通じた「手をつなぎ心をつむぐ みどりの清瀬」

まちづくり  
(長期総合計画の実現)

地域の方々が学校に集う→  
子供と関わる仲間として互いに顔見知りになる→  
子供から元気や生きがいを得る→  
元気と生きがいの輪が広がる→  
絆で結ばれたまちになる

学校づくりはまちづくり



スクールコミュニティプロジェクト



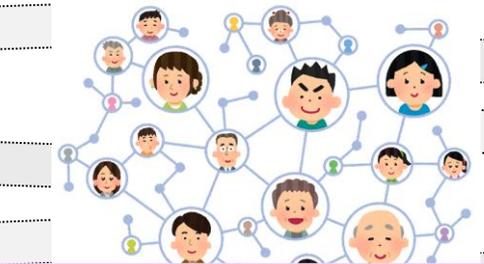
### 働き方改革

学校の働き方改革も進んで  
教師の指導力も高まり…

子供の力がどんどん  
伸びる



学校ー地域が信頼で結ばれる



ネットワーク（絆）が  
徐々に広がり…

様々な人が学校に集うようになり…



学校では教えてくれないことを  
たくさん学び



学校と地域が手をつなぐことで…

## 結果…

「よい学校」「よい地域」が生まれる



「自分たちの手で」という市民性が醸成され…



子供支援で共に汗を流すことで  
顔見知りになり、元気になり…



# 公共施設再編計画のコンセプトと軌を一にするもの

学校機能とコミュニティ機能が一体になった

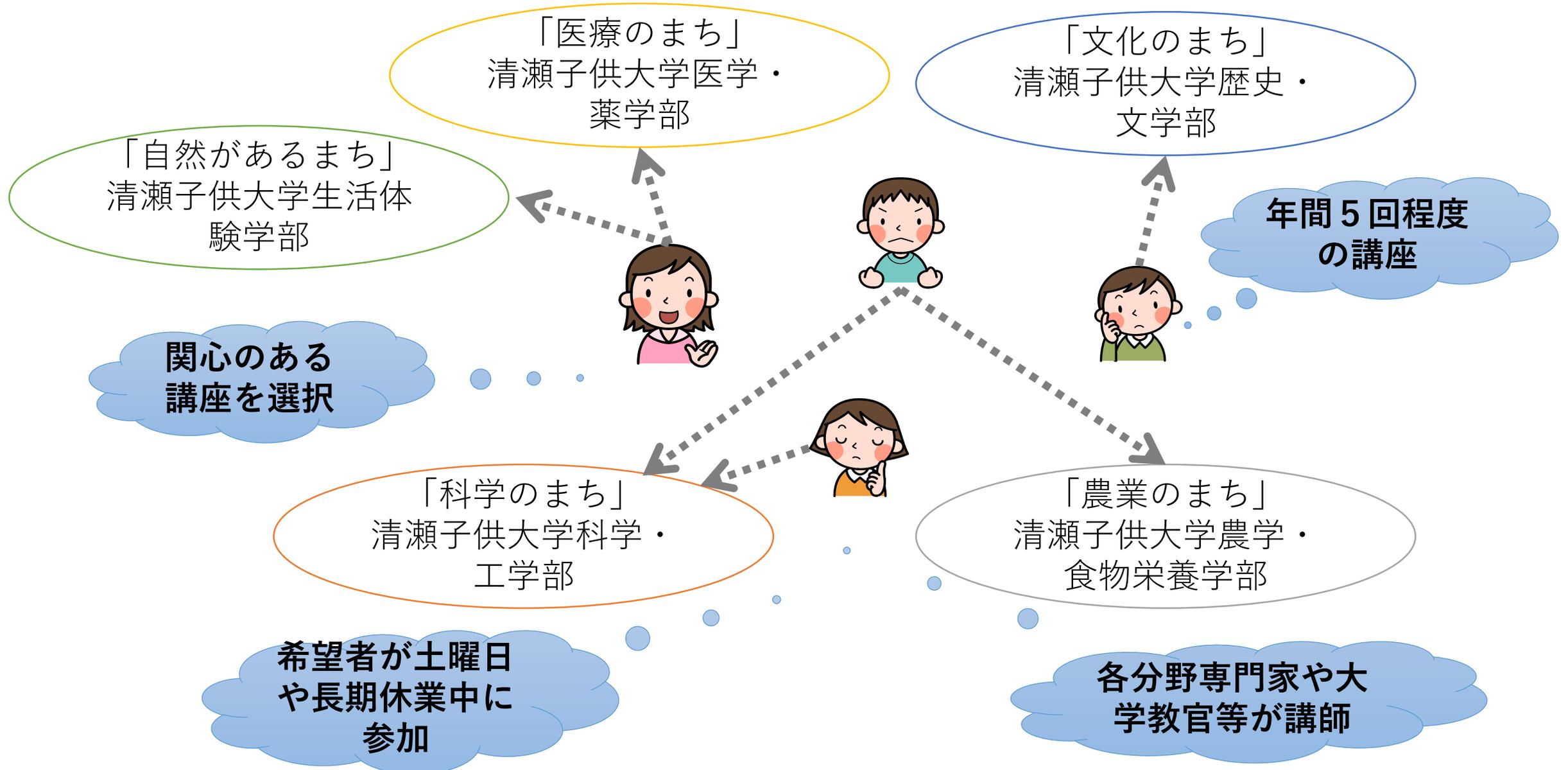
**複合型の公共施設**を建設します



学校一地域が協働すると　こんな効果が期待できます！（子ども編）

子供たちがこれまで以上に賢く豊かに育ちます

# 地域パワーを活用した「清瀬子供大学」



# R3は3講座開設!

## 清瀬子ども大学 薬学の部

明薬ラボへようこそ

主催：明治薬科大学/  
清瀬市教育委員会



### 自分の酵素を調べてみよう!

体の中で起きている化学反応を見てみよう

届いたキットを使って、自分の唾液に含まれている“酵素”が起こす化学反応を見てみましょう。



定員 **40名** 参加費 **無料**

場所 みなさんのご自宅

対象 小学校5、6年生

#### Program

- ①講義① 私たちの体の中で何が起きているかな? (動画)
- ②実験① だ液中の酵素の働きを調べてみよう!
- ③講義② 実験から何がわかったかな? (動画)

～成果発表 (課題実施)～

お申込み 清瀬市生涯学習スポーツ課へ電話またはFAXにて申込をしてください。

申込締切日 令和3年7月21日 定員を超えた場合は申込締切日後に抽選を行い、当選者の発表はキットの発送をもって代えさせていただきます。

問合せ先

清瀬市教育委員会 教育部 生涯学習スポーツ課 生涯学習係  
TEL.042-497-1815 (平日午前9時から午後5時まで受付)



## 清瀬子ども大学 理科の部

令和元年度にサイエンスフェスティバルとして好評だった理科実験イベントが、清瀬子ども大学理科の部としてカムバックです!  
楽しく理科実験に取り組んで、さあ、みんなで科学者になろう!



①香りのつぶを作ろう



②グリーンのみみつ かっ車の働き



③飛行機はなぜ飛ぶの?



④マイ地球を作ろう  
(5・6年生対象)

日時: 令和3年6月26日(土) 生涯学習センター

①②: 午前10時30分～12時 ③④: 午後2時～3時30分

費用: 無料(要申込) 対象: 市内在住の小学4～6年生(④のみ5・6年生)

定員: ①③は30名 ②④は20名 ※定員になり次第しめ切ります

申込: 清瀬市教育部生涯学習スポーツ課生涯学習係

042-497-1815 (平日午後5時まで受付)

## 清瀬子ども大学 音楽の部

バイオリン・ビオラ・チェロの音楽隊が、アミューホールにやってくる!でも、クラシック音楽をきくのが、何だかちょっと難しいそう...?大丈夫、今回のコンサートは、みんなで一緒にひびきを見つけるワークショップ型のコンサートなんです。楽器にひびく音、ホールにひびく音から、自分の心にひびく音を見つけよう!



※写真は過去のトリトン・アーツ・ネットワーク主催事業より

日時: 令和3年11月23日(祝)

1回目: 午後1時30分～2時10分

2回目: 午後3時20分～4時 (各回同一内容)

会場: アミューホール (生涯学習センター7階)

費用: 無料(要申込)

対象: 市内在住・在学の小学4年～6年生

各回先着40名 入場は開演の30分前から可

申込: 清瀬市教育部生涯学習スポーツ課

(042) 497-1815 (平日午後5時まで受付)

※定員になり次第しめ切ります



マルシェ弦楽四重奏団



「そんなことではいけません！」  
等地域による子供への声掛けや指導



学校と地域との協働による  
「共に汗を流す活動」



「自分は守られている」と実  
感できる体験



「社会の仕組み」の中に身を  
置き苦楽を体験する活動



地域をフィールドとする「自分は社会  
に役立っている」と実感できる活動



親でも教師でもない「第三の大人」か  
ら、褒められ認められる機会

学校では教えてもらえないことがたくさんわかって面白かったわ！

【学習への興味関心】

親にも学校の先生にも言えないけど、地域の〇〇さんなら悩みを相談できそう...

【相談相手】

どの人たちも「誇り」をもって仕事をしているんだなあ...。あんな大人になりたいな。

【大人の背中から学ぶ】

地域の〇〇さんから教えてもらったことを、もっとできるように努力したいな...

【学習への動機づけ】

清瀬ってすごい人たちがいっぱいいるんだ...。清瀬のこと、もっと知りたいな。

【郷土愛】

沢山の人に褒められて自信がわいてきた！

【自己肯定感の高まり】



子供にとって

大人っていろいろ苦労しているんだなあ...

【社会性の目覚め】

道でたくさんに大人の人たちが声をかけてくれるようになって、なんだか安心！

【安心・安全】

将来私も、〇〇さんのような仕事に就きたいな。

【将来への希望】

学校で知り合った〇〇さんに道で会ったから挨拶したら、とっても気持ちよかったな。

【人間関係の拡大】

学校一地域が協働すると こんな効果が期待できます！（子ども編）

子供たちの尊い命を

これまで以上に守ることが出来ます

## 社会にある「負の眼」から子供を守る「地域の力」



- 2015年8月大阪府寝屋川市の中学1年生の男女二人が殺害される。
- 星野君は午後9時ころ、「平田さんの家に行く」と外出。翌早朝5時ころ、寝屋川駅前商店街の防犯カメラに二人の姿が録画されていた。
- 中学生二人が商店街のベンチに寝ているところを何人もの大人が目撃している。

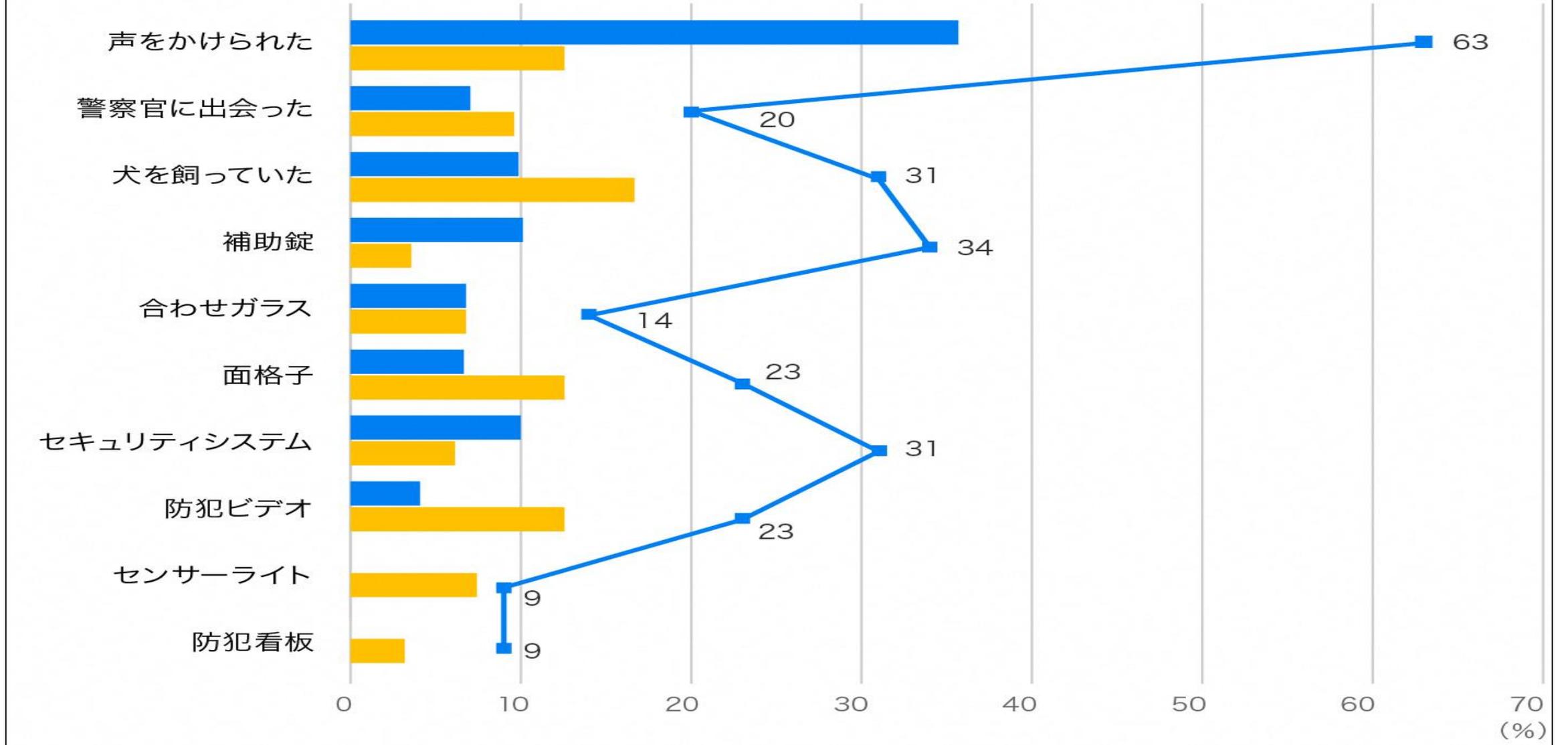
学校一地域が協働すると こんな効果が期待できます！（地域編）

**安心安全**なまちが創られます

～挨拶が交わされるまちは犯罪が少ない～

# 犯行をあきらめる要素

■ 1 番目の理由 ■ 2 番目の理由 — 全体(複数回答)



学校ー地域が協働すると　こんな効果が期待できます！（地域編）

子供と触れ合うことで元気が出ます！

生きがい、やりがい、役立ち感が育まれます！



健幸都市 きよせ

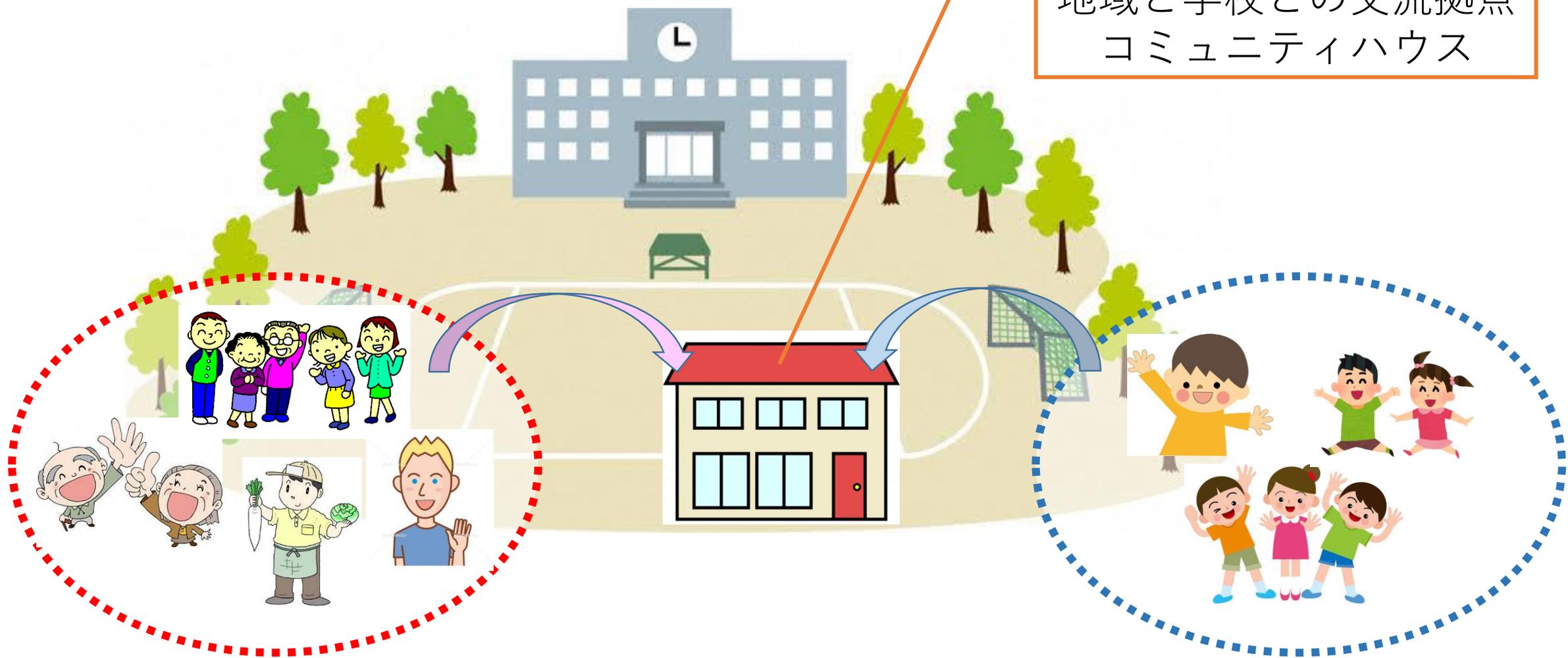
生きがいある故郷  
きよせ

手をつなぐまち  
きよせ

子供が集い 地域が集い 学び合い 関わり合う

「場」の必要性

地域と学校との交流拠点  
コミュニティハウス



子供が集い 地域が集い 学び合い 関わり合う 「場」

# モデルは 横浜市立東山田中学校コミュニティハウス



令和元年度 東山田中学校コミュニティハウス自主事業

9月1日は  
防災の日です  
その前に！

もしものための

## 災害食講座

阪神淡路大震災を経験し熊本地震の際には避難所の自炊支援に駆けつけた  
防災クッキングアドバイザーがわずかな道具と食材で調理のコツをお伝えします

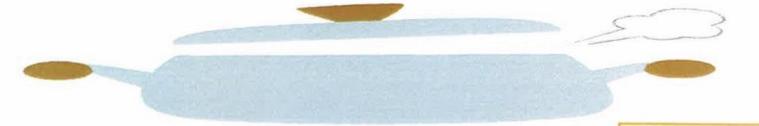
電気 水道 ガスの  
ライフラインがストップ  
したら…？

家族の食事を  
作れますか？

何日間  
持ちこたえることが  
できますか？

わずかな水で  
お米を研いだり炊いたり  
できますか？

缶詰を使って  
料理のアレンジは  
できますか？



試食して  
いただきます

実際に災害が起きた時の本当に使えるレシピ、  
避難所の様子、役立つ情報を映像を使ってお話しします

日時 : 令和元年8月29日(木) 13時~15時

場所 : 東山田中学校コミュニティハウス 研修室

講師 : 鈴木佳世子氏(危機管理教育研究所認定防災クッキングアドバイザー)

定員 : 20名 7月 17日(木)より受付先着順

参加費 : 200円 (食材費込み)

申込先 : 東山田中学校コミュニティハウス 窓口または電話で

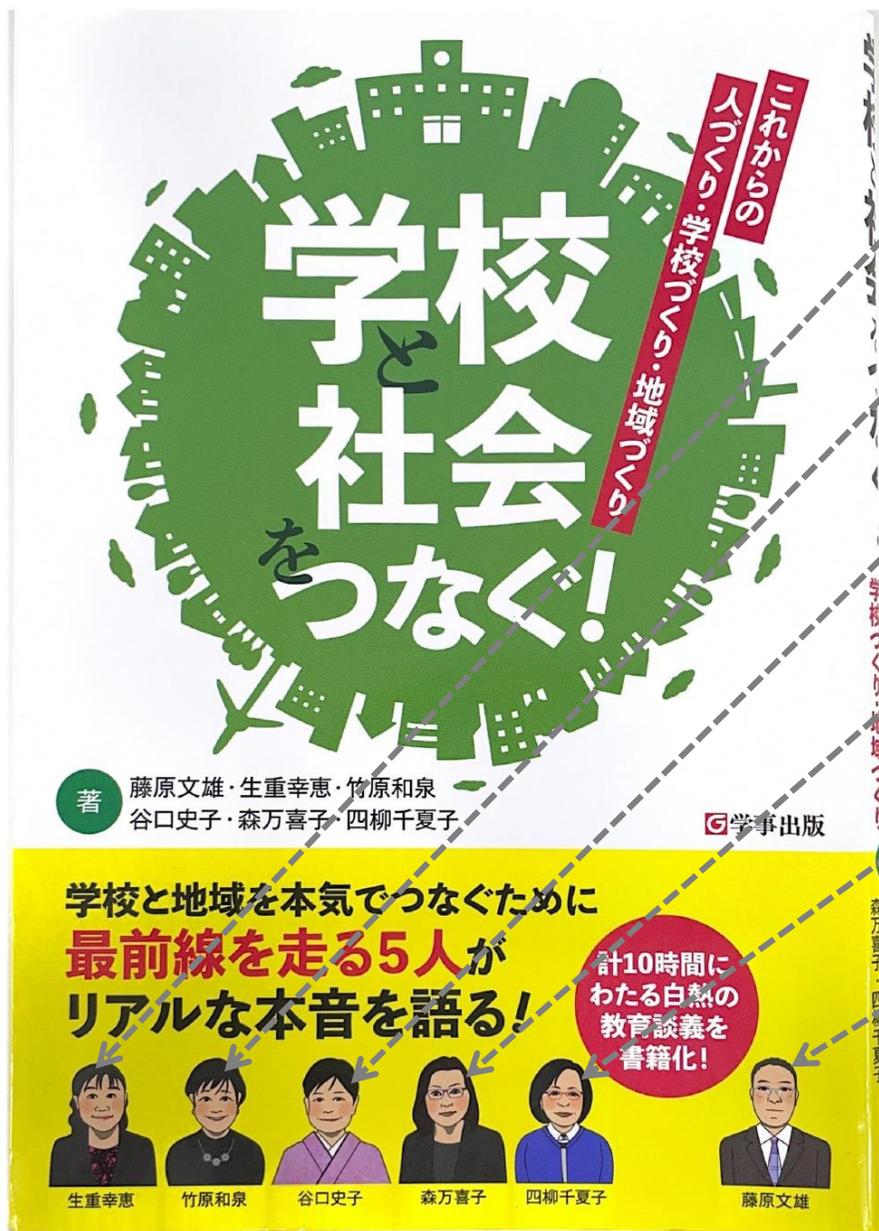
☎ 045-591-7240



特定非営利活動法人 つづき区民交流協会

<http://www.tsuzuki-koryu.org>

東山田中学校をトップランナーとして全国で学校地域の協働のための場づくりが進んでいます



生重幸恵氏：学校と地域との協働のパイオニア、中教審委員

竹原和泉氏：東山田中学校コミュニティハウス初代館長

谷口史子氏：京都光華小校長、関西における学校地域協働のトップランナー

森万喜子氏：北海道朝里中学校長、北海道初のコミュニティスクール導入

四柳千夏子氏：三鷹市の学校地域協働の先導者、（一社）代表理事

藤原文雄氏：国立政策研究所研究部長、国レベルでの地域協働の推進者

学校と地域・社会をつなぐためのツールは多岐にわたりますが、人が集い、学び合う空間としての「場」の重要性が認識されるようになりました。

たが、その経緯等について少し詳しく教えてください。

竹原

② 東山田中学校コミュニティハウスが、どのような経緯でできて、ど

のように学校と地域をつなげてきたかについてお話しします。東山田中学校は、ニュータウンの人口増加によって2005年度に開校した学校です。当時はちょうど、コミュニティ・スクール制度ができたばかりでしたので、横浜市教育委員会の方針として、東山田中学校をコミュニティ・スクールとして開校しました。その学校の中にコミュニティハウスが併設され、私は館長として11年間、学校と地域を結ぶ活動をしてき



藤原

① 2015年12月21日にとりまとめられた中央教育審議会「新しい時代の教育や地方創生の実現に向けた学校と地域の連携・協働の在り方と今後の推進方策について（答申）」においても「学校施設の積極的な開放等による地域の学び・集いの場」

1990年、横浜市でスタートしたコミュニティハウスのコンセプトは「地域活動の場」「生涯学習の場」「学校と地域を結ぶ場」というものでした。

のです。ただ、当時は誰もそのことを理解しておらず、「地域が安く使える貸館」的な位置付けに成り下がっていました。そうした状況がある中で、「東山田中学校は、特に学校と地域を結ぶ場としてしっかりと機能させたい。そのために館長をやってほしい」と区役所の担当者から頼まれ、教育長からもエールをいただく形で着任しました。

藤原

最初は、どんなことから着手されたのでしょうか。

竹原

館長として最初の仕事は、テーブルやパソコンなどを発注し、施設のハード面を整えることでした。その際、きちんとハードを整えることがソフトの充実にもつながると考え、12人が座れる大きな楕円形のテーブルや中庭に置くパラソル、カフェテーブルなどを購入しました。そうした場づくりによって、町内会の人や談笑したり、子育て中のお母さんが集ったりと、出会いが生まれると考えました。

この場所が果たす機能として、私は三つの柱を考えました。一つ目は空間を提供することです。赤ちゃんからお年寄りまで、用があってもなくても気楽に集える場所があることで、人と人がつながり、学校と地域がつながると考えました。そのため、とにかく居心地の良い空間をつく



竹原

② 横浜市が設置する「コミュニティハウス」は、学校と地域をつなぐための施設であり、学校の空き教室などを使用して、学校内に設置されました。東山田中学校の場合は新設校だったため、予めコミュニティハウスとしてのスペースを組み込む形で、校舎が設計されました。



活動の詳細は「NPO法人よせラボ」柿添代表と

コミュニティハウスをフル活用している

清明小学校 川勝校長から

報告していただきます

# 今後の展開 令和4年度一杯

## 令和5年度以降の取り扱いについて

令和5年度から清小＋八小新校完成時までは

「学校を地域コミュニティの核として位置づけ複合型・多機能型の施設とする」という公共施設再編のコンセプトによって建設される

清瀬小＋第八小の新校を**成功事例**にするための「準備期間」として

コミュニティハウスの**機能継続を強く希望**する